

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートステーション マナビと		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 26日		～ 令和8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 15人
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 12日		～ 令和8年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自立支援の取り組み	自立というしっかりとした目標をかかげ、年齢や特性、家庭環境に合わせた目標設定を保護者様としっかり話し合い、生活スキル、自力登校や留守番など今後を見据えた取り組みをしている。	事業所内での取り組みに加え、家庭内でも自発的に取り組めるように、チェック表や目標を書いた掲示物等を活用している。一定数効果が出ているため今後もこのような手法を強化し、わかりやすく本人や家族で取り組めるようにしていきたい。
2	集団療育のプログラム	集団で行うことで見えてくる問題が多いため、利用者同士の関わりの中で、コミュニケーション力や社会生活スキルを学ぶことが出来る。	小学生から高校生までの利用者がいるため、上下関係でのコミュニケーション等も習得出来る様な支援をしていきたい。
3	楽しい場所、頼られる場所の提供	利用者もスタッフも楽しく過ごせる事業所作りをしている。利用者が楽しみながら学び、楽しみながら経験、成長出来るような課題や行事を設定している。	家庭や学校等での困り感や不安を聞けるように、利用者との信頼関係や、話しやすい環境(困っている事がないかお話をする機会を増やしたりお手紙に書く等)の充実を図っていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動の内容の発信が出来ていないものがある	連絡帳や写真での様子はお伝えしているが、様々な活動や課題を行っていることが上手く発信出来ない。業務として時間を取れるかが課題となっている。	HPやSNS等でシステム化し、日々の業務に組み込むことが出来れば定期的に行っていけるかと思うが難しい側面もある。また職員の負担等も大きくなるため効率的に取り組める方法を考えていきたい。
2	利用者が事業所で出来ていることが家庭で再現出来ていない	事業所で守れていることや努力できていることが、家庭になると出来ていないことがある。家族の手助けや管理、本人の努力や意識が求められるが、環境が変わっても支援できるような方法が課題となっている。	指導や、取り組みを文章化やイラスト化した掲示物を作成等してご家庭に渡しているが、上手く続かないことがある。保護者様の困り感も強い部分のため、こういった取り組みが効果があるのか改めて考えていく。
3	地域交流が出来ていない	町の文化祭や祭りには出向き、お店の方との交流は多少あるものの、参加までは出来ていない。小規模事業所として、どこまでの範囲のものが出来るのが課題となっている。	まずはボランティア活動や同法人のこども園と何か出来ないか、最初から範囲を広げるのではなく、出来ることから検討して行くことが必要だと思う。